

■著作権について

本レポートと表記は、著作権法で保護されている著作物です。本レポートの著作権は発行者にあります。本レポートの使用に関しましては、下記の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本レポートを入手した個人・法人（以下、甲と称す）と発行者（以下、乙と称す）との間で合意した契約です。本レポートを甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第 1 条本契約の目的：

乙が著作権を有する本レポートに含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第 2 条禁止事項：

本レポートに含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本レポートから得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本レポートに含まれる情報を使用できるものとします。

第 3 条損害賠償：

甲が本契約の第 2 条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第 4 条契約の解除：

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することが出来るものとします。

第 5 条責任の範囲：

本レポートの情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

■目次

- 0-1 4年に一度のビックイベント
- 1-1 ビットコイン半減期とは
- 1-2 4回目の半減期は2024年4月20日ごろ
- 1-3 インフレ率と希少性
- 1-4 過去の分析
- 1-5 半減期後どうなる？
- 1-6 著名投資家の強気予測
- 1-7 半減期の投資リスク
- 1-8 マイナー動向の指標
- 1-9 ビットコイン半減期と投資戦略
- 1-10 ビットコイン半減期に関するよくある質問
- 1-11 まとめ



はじめまして、杉浦和久と申します。

暗号資産（仮想通貨）ビットコイン（BTC）は、4年に一度の半減期イベントを2024年4月中旬に控え、市場の注目を集めています。このイベントでは、マイナーへの報酬として新たに発行されるビットコインの量が50%減少し、過去には、この半減期が価格上昇の契機となり、ビットコインが過去最高値を更新する強気のトレンドが見られました。

ビットコインはこれまでに3回の半減期を経験し、それぞれの後に新たな最高値を記録してきました。2021年時点でのビットコイン供給の年間インフレ率は1.8%に低下しましたが、2024年の半減期ではこのインフレ率がさらに0.86%へと低下する見込みです。

興味深いこと、ビットコインの半減期は過去、世界経済の金融緩和期とも重なっています。中央銀行による量的緩和政策は、法定通貨のインフレを促進し、インフレに強い資産であるビットコインの重要性を際立たせてきました。

供給量の減少は、需給バランスに基づき、資産価格に上昇圧力を与えると考えられます。

このレポートでは、ビットコインの半減期のメカニズム、市場の見通し、投資戦略やリスクについて紹介します。

1-1 ビットコイン半減期とは

半減期とは、ビットコイン（BTC）のネットワークを維持するため、ブロックを生成するマイナー（採掘業者）に支払われる「マイニング報酬」が半分になるイベントです。

ビットコインはプルーフ・オブ・ワーク（PoW）という合意形成アルゴリズムを採用しています。このシステムにおいて、新しいトランザクションが含まれたブロックの生成が行われるたびに、その計算作業を成功させたマイナーには新しいビットコインが報酬として与えられます。

発行枚数上限 2,100 万 BTC にあらかじめ設定されているビットコインは、21 万ブロック単位でマイニング報酬（新規供給量）が 50%減少するように定められています。およそ 10 分に 1 個のペースで約 4 年かかるため、21 万ブロックが生成されるには、4 年かかります。これが半減期（bitcoin halving）の仕組みです。

1-2 ビットコインのユニークな特性

日付	BTC価格	報酬
2012/11/28	12.31ドル (約1300円)	50→25BTC
2016/07/09	650.63ドル (約7万円)	25→12.5BTC
2020/05/12	8800ドル (約93万円)	12.5→6.25BTC
2024	-	6.25→3.125BTC
2028	-	3.125→1.5625BTC

半減期の目的は、大きくわけて 2 つあります。

ビットコインの流通量の増加ペースを抑制することで、「希少性」を高めること
新規発行量の引締めによって、インフレーション発生を抑制し、価格の安定化を図ること

2009 年始めのマイニング報酬は 50BTC でしたが、2012 年に 1 回目の半減期、2016 年に 2 回目の半減期を経て 12.5BTC へと半減しました。2024 年の 4 回目の半減期では、6.25→3.125BTC まで減少します。

ビットコインは、2020 年 5 月 12 日 4 時 23 分(日本時間)、ブロック高#630,000 で 3 度目の半減期を迎えました。

次回のビットコイン半減期 (ブロック高 : 840,000) は、2024 年 4 月 20 日頃に訪れる見込みです。

1-3 インフレ率と希少性



インフレーション、つまりインフレは、商品やサービスの価格が全般的に上昇し、結果として通貨の価値が低下する現象を指します。この現象は主に、政府や中央銀行が金融政策を通じて市場に流通する法定通貨の量を増やすことによって発生します。

2021年時点で、ビットコインの供給インフレ率は1.8%にまで低下していました。この数字は、2024年のビットコイン半減期によって、1.72%からさらに低下し、0.86%になると予測されています。このようにビットコインの供給増加率が抑えられることは、その価値を維持しやすくする要因の一つです。

また、ビットコインは「デジタルゴールド」とも呼ばれます。これは、地球上に存在する金（Gold）の量が限られているのと同様に、ビットコインも最大供給量が2100万BTCに限定されており、その希少性が価値の保存手段として機能するためです。金と同様に、ビットコインもインフレや経済的不安の時代における資産価値の保護手段としての役割を果たします。

特に、インフレ率が高い国や経済的不安が続く国では、ビットコインへの投資が資産を保護する手段として注目されています。例えば、アルゼンチンのよう

な新興国では、インフレや経済的不安から資産を守るためにビットコインへの投資が進んでおり、その結果、ビットコインのローカル価格が上昇する現象も観察されています。

1-4 過去の分析

ビットコインの価格動向は、4年に一度の半減期イベントに大きく影響を受けてきました。外部の経済状況に左右されることもあるものの、半減期はビットコインの価格サイクル（弱気トレンドから閑散相場、強気トレンドへと続くバブル相場）と密接に関連していることが観察されます。

●2016年7月

2016年7月9日の前々回の半減期時、ビットコインの価格は650ドルでした。このイベントの約1ヶ月半前から価格が上昇し始め、半減期の3週間前にピークに達した後、価格は反落。半減期から150日後のビットコイン価格は、約758ドルとなりました。



その後、2017年の仮想通貨バブルを経て、年末にはBTC価格が20,000ドルに達しました。



● 2020年3月

2020年3月には新型コロナウイルスのパンデミックが起こり、世界中の経済活動が大きく影響を受けました。これによりビットコイン価格も一時的に暴落しましたが、米国の連邦準備制度（FRB）による金利の引き下げや量的緩和の拡大などの政策が施され、市場は急速に回復しました。

金融緩和と並行して実施された各国の財政刺激策も市場の回復を後押しし、ビットコイン価格は再び上昇を始めます。そして、前回のビットコインの半減期は、まさにその状況下で1BTCあたり8,740ドルで迎えました。



2020年12月には、ビットコインは過去最高値を更新し、1BTC=20,000ドルを超えました。2021年10月にビットコイン先物ETFが上場されると、価格はさらに上昇し、1BTC=69,000ドルまで達しました。この半減期から天井までの最大上昇率は約700%で、その期間は337日間でした。

しかしながら、2022年3月にFRBが金融引き締めへと政策を転換し、政策金利の引き上げを開始したことで、市場の勢いは急速に沈静化しました。加えて、2022年5月のテラ（LUNA）ショックや同年11月のFTXショックなど、ビットコインを含む暗号資産市場に影響を及ぼす事件が相次ぎました。これらの一連の出来事は、ビットコインを含む暗号資産市場における弱気相場の長期化を招き、「暗号資産の冬」とも呼ばれる時期を迎えさせました。

1-5 半減期後どうなる？

2022年の弱気相場を経験した後、ビットコイン市場は2023年に大きく反発しました。2024年3月時点で、ビットコインの価格は半減期を待たずして既に上昇傾向にあり、過去最高値を更新しました。3月9日時点では7万ドルに迫る勢いを見せています。

2024年には、半減期以外にも、ビットコイン市場にとって数年に一度の好機となる強気要因がいくつか備えています。

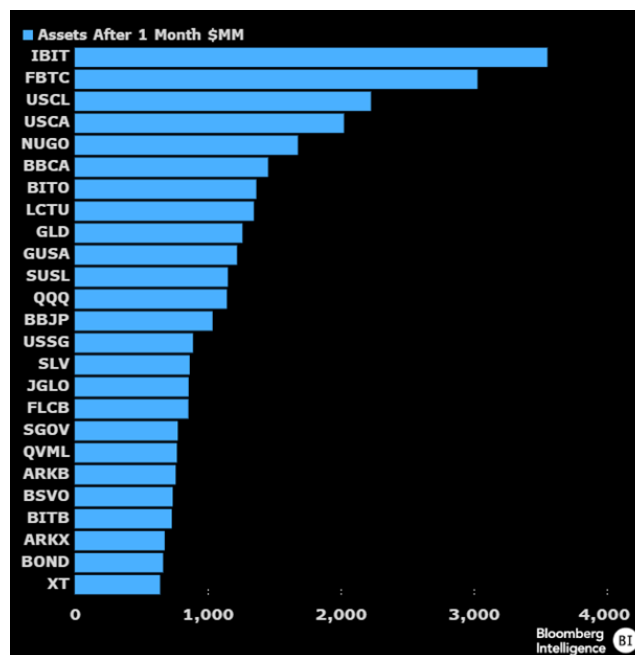
FRB（米連邦準備制度）の金利引き下げ（ハト派転換）

ビットコインETF（上場投資信託）の取引開始

ビットコインETFは、金融商品取引所に上場している投資信託であり、投資家は株式などと同様に証券口座を通じて間接的にビットコインに投資できるようになります。現物型のビットコインETFは、実際のビットコインを購入して運用することになります。

投資家保護などの観点から長年にわたって米国の規制機関から認められなかったビットコイン現物ETFは、2024年1月11日について承認されると、取引開始からわずか5日間で約12億ドルの純資金流入を記録。

特にブラックロックのIBITやフィデリティのFBTCは、ETFの30年の歴史の中で取引開始から17日間で30億ドル（4400億円）以上の資金流入をそれぞれ確保。発売後1か月間のETF資産流入ランキングトップ2に名を連ねました。



ビットコイン現物 ETF の動向以外にも、今回は米国の金融政策も注視しておく必要があります。

また、米国の金融政策も今後のビットコイン市場に影響を与える重要な要素です。2023 年 11 月以降、世界的な利上げサイクルが一旦停止し、その後 FRB は早期の利下げ期待をけん制しつつも、2024 年 2 月まで 4 会合連続で政策金利を据え置く状況に。金融緩和開始への期待を高め、ビットコイン市場を後押ししました。

1-6 著名投資家の強気予測

金利低下の場合、米国債への投資魅力が薄れることから、投資家はビットコインのようなリスクは高いものの成長傾向にある資産へとシフトする可能性があります。機関投資家やアナリストの中には、ビットコインが過去最高値の 69,000 ドルを大きく上回り、2024 年末までに 125,000 ドルに達すると予想する声もあります。

英金融大手スタンダードチャータード銀行は、2023 年 7 月にビットコイン相場の展望を分析し、米欧の金融不安やマイナーの利益増加、機関投資家からの資金流入などを根拠に、2024 年末までにビットコインが 120,000 ドルに達する可能性があるとして予想しています。

アンソニー・スカラムーチ氏とキャシー・ウッド CEO は特にビットコインに関して極めて強気な見方を示しています。米資産運用企業 SkyBridge の創業者であるスカラムーチ氏は、過去のデータに基づき、半減期後 18 カ月でビットコイン価格が約 4 倍に増加すると指摘し、2025 年の半ばから後半にかけてビットコインが 17 万ドルに達すると予測しています。



スカラムーチ氏はまたビットコインが金の市場価値の半分に到達するとして、ビットコインの時価総額が将来的に 8 兆ドルに到達し、その価格が 40 万ドルに達すると見えています。

ビットコイン (BTC) の現物 ETF で承認を得た ARK Invest のキャシー・ウッド CEO は 1 月、機関投資家からの資金流入をビットコイン価格上昇の主要因として指摘し、2030 年までにビットコインが 60 万ドル (約 8,720 万円) に達すると予測。さらに、彼女は最も楽観的なシナリオでは、ビットコインが同年までに 150 万ドルに達する可能性があるとしています。

1-7 半減期の投資リスク

半減期を迎えることで自動的に価格が上昇すると考えるのは早計です。ビットコインの価格は世界経済の状況を含む多くの要因によって影響を受けます。半減期に関わらず、価格が大きく下落するリスクも存在します。

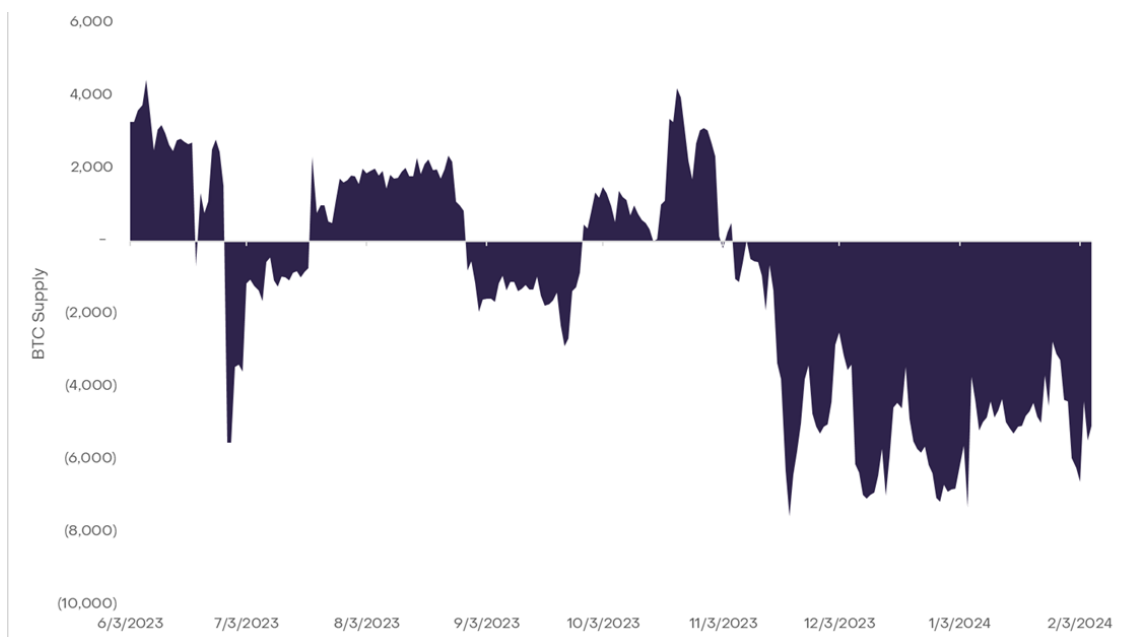
半減期が近づくと、利益を追求するトレーダーが市場に参入し、取引が活発化します。これにより、価格のボラティリティが増加し、大幅な価格調整が生じる可能性がありますので、注意が必要です。

マイナーが運営資金を確保するために保有ビットコインを売却する可能性もあ

ります。特に、報酬の減少は小規模なマイナーにとって大きな打撃です。マイニングの固定費用を賄うため、マイナーは時には保有ビットコインの売却に迫られることがあります。この動きは市場に売り圧力をもたらし、価格に影響を及ぼす可能性があります。

1-8 マイナー動向の指標

収益性の低下に伴い、ビットコインネットワークから撤退するマイナーが出現する場合、これは採掘難易度の一時的な低下を引き起こす可能性があります。ビットコインには、ブロック生成のペースを一定に保つために計算作業の難易度を調整する仕組みが備わっており、このシステムにより平均して 10 分に 1 回ブロックが生成されるように設計されています。マイナーの撤退後、マイニングからの売り圧力が減少することが期待されます。



このような見通しは悲観的に思えるかもしれませんが、マイナーが半減期による財務への影響に備え、長期間にわたり準備してきた証拠が存在します。2023 年第 4 四半期には、マイナーが保有するビットコインのオンチェーンでの売却が顕著になり、ブロック報酬の減少に先駆けて流動性を確保しようとしていた可能性を示唆しています。



仮に一部のマイナーが市場から撤退しても、結果としてハッシュレートが低下し、採掘難易度が調整されれば、残ったマイナーの採掘効率が改善され、ネットワークのバランスが維持される可能性があります。

また、マイナーの報酬は、ブロック報酬だけでなく、ユーザーが支払う取引手数料からも構成されています。ビットコインエコシステム内での NFT（オーディナル）やレイヤー2 プロジェクトの重要性が高まっており、これらのイノベーションは、トランザクションの処理能力を向上させ、ネットワークの取引手数料収入を増やすことにより、マイナーにとって前向きな展開を示す可能性があります。

1-9 ビットコイン半減期と投資戦略

強気予測を踏まえた投資戦略には、期保有や分散投資、定期的なリバランス、そして市場分析に基づく機動的な戦略調整が含まれます。重要なのは、これらの予測が現実のものとなるかどうかは、多くの不確実性に依存するということです。そのため、市場の変動に柔軟に対応できるよう、リスク管理と投資の多様化に注意を払うことが不可欠です。

ビットコイン半減期後の強気予測に基づいた投資戦略を検討する際、現在の価格、市場のボラティリティ（価格変動リスク）、そして長期的な視点を考慮することが重要です。以下に、考えられる戦略をいくつかご紹介します。

1. 長期保有戦略（ホールド）

半減期後の価格が長期的に上昇すると予測される場合、仮想通貨取引所でビットコインを購入し、長期間保有する「ホールド」戦略が基本となります。この戦略は、市場の短期的な変動に動じず、長期的な価値増加を目指す投資家に適しています。また、価格の下落時には追加購入を検討することで、平均取得コストを下げるドルコスト平均法が推奨されます。

2. 分散投資

ビットコインに加え、株式、債券、貴金属、不動産といった暗号資産以外の投資への分散投資が重要です。これにより、リスクを広範囲に分散させることができます。様々な資産クラスを組み入れることで、市場の変動に対するポートフォリオの耐性を高めることが可能になります。たとえば、キャシー・ウッド氏も、投資ポートフォリオにおいてビットコインへの割り当てを 20%未満（2023 年末時点）としており、分散投資の重要性を指摘しています。

3. ストップロスと利益確定

市場の急激な変動に対応し、資産を守りながら利益を確定させる効果的な戦略の一つとして、ストップロス（損切り）のための「逆指値注文」と利益確定のための「指値注文」の設定が挙げられます。さらに、短期間での急騰や過熱感が見られる状況においては、レバレッジ取引を活用したヘッジやショート戦略を取り入れることが有効なオプションとなります。

レバレッジ取引を用いることで、保有資産の価値が下落するリスクに対する保護策（ヘッジ）を講じることが可能です。特に、ビットコインの価値が下落すると予想される際には、ショートポジションを取ることでポートフォリオの価値を守ることができます。ただし、レバレッジ取引には大きなリスクも伴うため、適切なリスク管理が重要です。

4. ニュースの追跡、不確実性への対処

市場の動向、政治経済の状況、技術的な分析などに基づいた情報を常に追跡し、投資戦略を柔軟に調整することが重要です。特に、半減期のような重要なイベ

ントの前後では、市場のセンチメントが大きく変化する可能性があります。

これらの戦略を選択する際には、自分のリスク許容度、投資目的、市場に対する見解を十分に理解することが必要です。また、暗号資産市場は非常にボラティリティが高いため、投資には慎重な判断が求められます。

1-10 ビットコイン半減期に関するよくある質問

Q1: ビットコイン半減期とは何ですか？

A1: ビットコイン半減期は、約 4 年ごとにビットコイン (BTC) の新規発行量が半分に減少する日です。具体的には、ビットコインのネットワークを保護する貢献者への報酬が 50% 減少し、新規に流通するビットコインの速度に直接影響を与えます。2020 年初めには 10 分ごとに 12.5 BTC が生成されていましたが、5 月にはその数が 6.25 に半減しました。2024 年 4 月には約 3.125 に再度減少します。このプロセスは、2140 年頃に全 2100 万 BTC が採掘されるまで続きます。

Q2: ビットコイン報酬が半減するとどうなりますか？

A2: ビットコイン報酬が半減すると、新たに発行される BTC の数が半分になります。つまり、トランザクションを検証しブロックチェーンに追加するためのマイナーへの報酬が 50% 減少します。このイベントはビットコインのプロトコルに組み込まれており、約 4 年ごと、または 210,000 ブロックごとに発生します。

Q3: ビットコイン半減期が重要な理由は何ですか？

A3: ビットコインの半減期が到来すると、ネットワークを維持する報酬が 50% 削減され、新規に流通する BTC の速度に直接的な影響を与えます。ビットコインは最大で 2100 万 BTC しか存在せず、半減期を迎える度にその数は減少し、結果として希少性が高まります。ビットコイン ETF を始め、歴史的にビットコインの需要は増加しており、この希少性は価格上昇への潜在的な推進力となる

ことが期待されます。

Q4: 2024年のビットコイン半減期はどうなりますか？

A4: 2024年4月の半減イベントに近づくにつれて、投資家は増加するボラティリティ、マイニング業界内の再編成の可能性、および仮想通貨市場での重要な変化に備える必要があります。新規ビットコインの供給減少と潜在的な需要増加により、供給と需要の不均衡が生じ、価格の上昇に寄与する可能性があります。しかし、半減期自体がビットコイン価格の唯一の影響要因ではないことに注意が必要です。市場の他の要因、投資家のセンチメント、マクロ経済条件も価格に大きな影響を与える可能性があります。過去のデータによると、半減年にはビットコインの価格が大きく動くことが示されていますが、価格が上がる場合もあれば下がる場合もあります。

Q5: 2024年のビットコイン半減期に、投資家は何に注意すべきか？

A5: ボラティリティ（価格変動性）の高い環境では、投資家はリスクを適切に管理することが重要です。過度なレバレッジ取引は避け、市場の急激な動きによる損失を防ぐためにストップロスの設定を行うことが推奨されます。また、ドルコスト平均法による積立投資は、長期的な視点で価格の変動リスクを軽減する効果的な手段となります。

これらの戦略を実施するためには、信頼できる取引所の選択が不可欠です。安全性、使いやすさ、および多様な取引オプションを提供する取引所を選ぶことで、投資家は今後の市場変動に備え、ポートフォリオを適切に管理することになります。

1-11 まとめ

これでビットコインの半減期に関する解説を終えます。半減期を通じて価格がどう変動するかについて明確な答えが出なかったことで、いささかがっかりされた方もいるかもしれませんが、しかし、いかなる金融商品においても、投資展望に絶対は存在しません。

それでも、半減期がビットコインの供給量に影響を及ぼし、投資家はその事実を重視していることは間違いありません。過去の半減期を見ると、イベント後に価格が上昇する傾向にありましたが、これは他の多くの要因と相まっての結果です。

ビットコインの半減期は、仮想通貨市場における重要なイベントの一つです。これを機に、新たに取引所で口座を開設したり、ビットコインへの投資を考えるのも良いかもしれません。このような大きなイベントを通じて、ビットコインや仮想通貨全般について理解を深め、投資戦略を練る良い機会となるでしょう。

■ 発行者情報

発行者：杉浦和久

連絡先：crypto@dotcomexpertsecrets.com

ブログ：<https://dotcomexpertsecrets.com/>

■ おすすめ教材

商品名：4年に1度しか訪れない仮想通貨投資の一大イベントが来年2024年4月に訪れるのをあなたは知っていますか？

⇒ [コチラから](#)

1. 今さら聞けない、仮想通貨（暗号資産）ビットコインの基礎の基礎

⇒ [コチラから](#)

2. 仮想通貨（暗号資産）ビットコインの超基本を学ぶ

⇒ [コチラから](#)

3. 仮想通貨（暗号資産）ビットコインの全ての基礎がわかる

⇒ [コチラから](#)

4. 草コインからビットコインに次ぐ将来有望な銘柄の探し方
⇒ [コチラから](#)

5. 日本人の 99%が全くわかっていない仮想通貨の超ポテンシャル
⇒ [コチラから](#)

6. 仮想通貨投資を元手に資産形成をし老後を自由気ままに過ごす戦略
⇒ [コチラから](#)

7. 失敗しない国内仮想通貨取引所を選ぶために注目すべき 4 条件
⇒ [コチラから](#)

8. 失敗しない海外仮想通貨取引所を選ぶために注目すべき条件
⇒ [コチラから](#)

9. メタマスク (MetaMask) 完全操作マニュアル
⇒ [コチラから](#)

10. NFT(ブロックチェーン)ゲームを無課金で遊べるおすすめ 9 選
⇒ [コチラから](#)

11. 2024 年 4 月の 4 度目のビットコイン半減期を大予測
⇒ [コチラから](#)

12. 年利 8%以上で運用ができる仮想通貨ステーキング【超入門】
⇒ [コチラから](#)

13. 意外と知られていない超高いコスパの仮想通貨積立とは？
⇒ [コチラから](#)

14. 1億倍を達成した第2のビットコインを探し出すアルトコイン戦略
⇒ [コチラから](#)

15. 草コインを当中させ億り人になるアルトコイン完全攻略マニュアル
⇒ [コチラから](#)

16. 2024年5月からビットコイン仮想通貨のバブル相場が始まる！
⇒ [コチラから](#)

17. 仮想通貨積立 x ステージングを同時実現させるハイブリッド投資
⇒ [コチラから](#)

18. 通勤時のすき間時間にポイ活して毎月1万円のご小遣いを貯める
⇒ [コチラから](#)

19. リスクゼロで3万円の軍資金を準備する【自己アフィリエイト】
⇒ [コチラから](#)

20. 初心者が知るべきビットコインの基礎、投資メリットとリスク
⇒ [コチラから](#)